



VOICE（仙台版）調査レポート

株式会社 東日本リサーチセンター
代表取締役 佐藤 彰男

「プロ野球、楽天イーグルス」 仙台市民の意識調査

当社では、日頃より地域の生活者の意識・実態について各種調査を実施し、地域に根ざした情報発信を行っております。

仙台を本拠地としたプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」は、今シーズンで 10 シーズン目となります。昨年はパ・リーグ制覇及び日本一となり、素晴らしいシーズンとなりました。今シーズンは、昨年レギュラーシーズン無敗の田中将大投手がアメリカの大リーグに活躍の場を移したため、投手陣の再編が課題となっています。一方、期待の新人松井裕樹投手が加入し、さらに若手選手の台頭もありファンには連覇を期待されています。今年はチームとしての真価が問われる一年と言えます。

そこで、当社では、当社の仙台市民 1,000 人の消費者モニターを対象に、平成 26 年「プロ野球、楽天イーグルス」に関する調査を実施いたしました。この調査は仙台市民のプロ野球、楽天イーグルスに対する意識・実態を把握するために、平成 17 年から行っているもので、今回の調査で 9 回目の調査となります。（平成 23 年は東日本大震災の影響のため調査を実施しておりません。）

このたび、その調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

調査実施概要

1. 調査対象および回収状況

○調査対象者（仙台市内に居住する当社の消費者パネルモニター1,000人）

○回収状況（対象数 1,000 サンプル、回収数 1,000 サンプル、回収率 100%）

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
男性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	20	20	20	20	100
	60代	20	20	20	20	20	100
女性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	20	20	20	20	100
	60代	20	20	20	20	20	100
合計		200	200	200	200	200	1,000

2. 調査方法

○留置調査法（訪問留置、訪問回収）

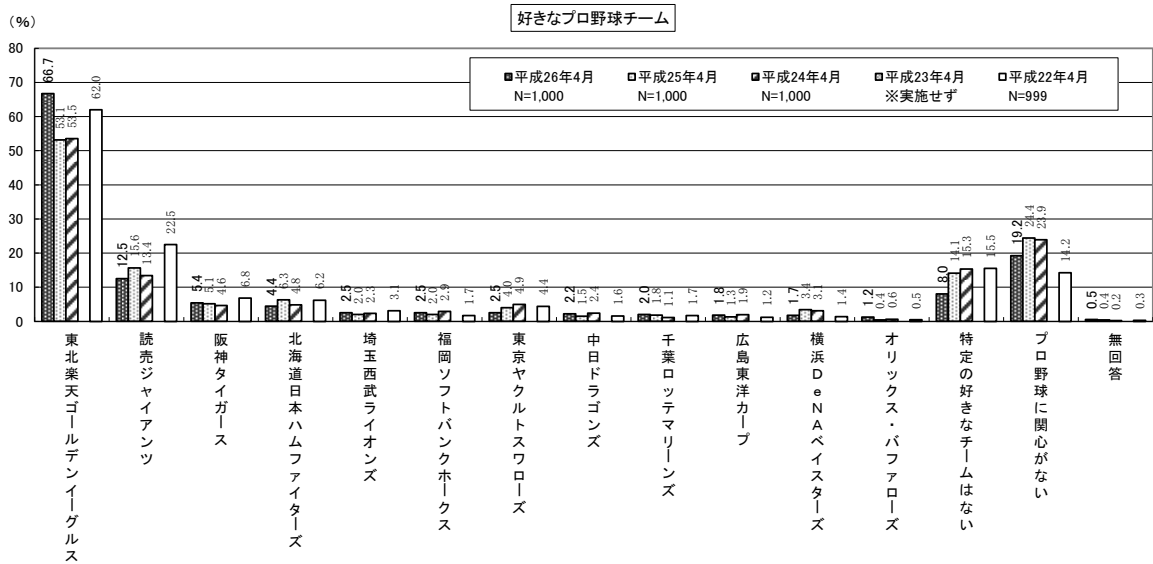
3. 調査実施期間

○平成 26 年 4 月

1. 好きなプロ野球チーム (複数回答)

好きなプロ野球チームは、「楽天イーグルス」が 66.7%と、調査開始以来最も多い。

- プロ野球で好きなチーム (複数回答) の第 1 位は「楽天イーグルス」で、66.7%と平成 17 年の調査開始以来最も多くなっている。次に、第 2 位が「読売ジャイアンツ」で 12.5%と 1 割台で続いている。以下、第 3 位が「阪神タイガース」(5.4%)、第 4 位が「北海道日本ハムファイターズ」(4.4%) などとなっている。
- 「楽天イーグルス」は前回調査 (平成 25 年実施) で 53.1%であったのに対し、今回調査では 66.7%と 13.6 ポイント上回っている。これは、平成 21 年に野村監督のもと 2 位になった翌年調査 (平成 22 年実施) の 62.0%以来の 6 割超えとなっている。
- 前回調査 (平成 25 年実施) で第 4 位であった「阪神タイガース」が、今回調査では 3 位とランクアップしている。



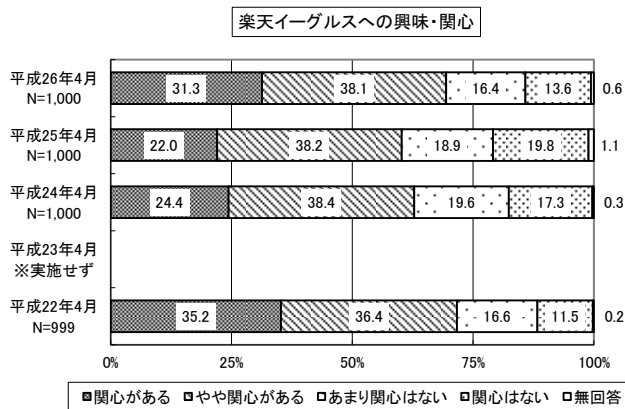
好きなプロ野球チーム (ベスト5)

	『1位』	『2位』	『3位』	『4位』	『5位』
平成26年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	北海道日本ハムファイターズ	埼玉西武ライオンズ
平成25年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	東京ヤクルトスワローズ
平成24年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	東京ヤクルトスワローズ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース
平成23年	-	-	-		
平成22年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	北海道日本ハムファイターズ	東京ヤクルトスワローズ
平成21年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	北海道日本ハムファイターズ	東京ヤクルトスワローズ
平成20年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	北海道日本ハムファイターズ	東京ヤクルトスワローズ
平成19年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	福岡ソフトバンクホークス	北海道日本ハムファイターズ
平成18年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	東京ヤクルトスワローズ	福岡ソフトバンクホークス
平成17年	東北楽天ゴールデンイーグルス	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	北海道日本ハムファイターズ	東京ヤクルトスワローズ

2. 楽天イーグルスへの興味・関心（単数回答）

楽天イーグルスへの『興味・関心あり』が69.4%と、ほぼ7割に達している。

- 関心度は、「関心がある」（31.3%）と「やや関心がある」（38.1%）を合わせた『関心あり』が69.4%とほぼ7割近くに達しており、調査開始以来、2番目に多くなっている。
- 一方、「あまり関心はない」（16.4%）と「関心はない」（13.6%）を合わせた『関心なし』は30.0%となっている。

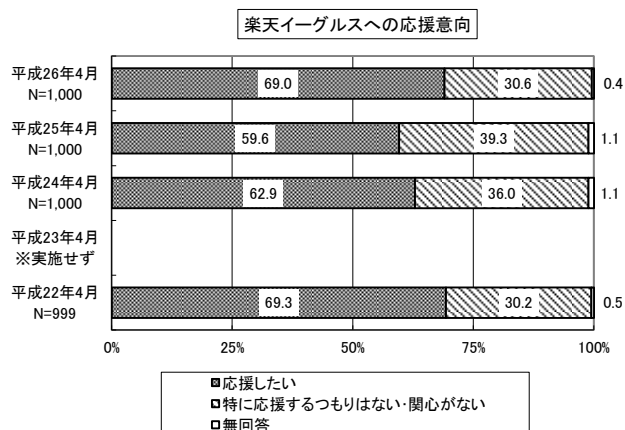


	『関心あり』	『関心なし』
平成26年	69.4%	30.0%
平成25年	60.2%	38.7%
平成24年	62.8%	36.9%
平成23年	-	-
平成22年	71.6%	28.1%
平成21年	69.0%	30.7%
平成20年	69.5%	29.4%
平成19年	67.1%	31.8%
平成18年	62.0%	36.8%
平成17年	68.2%	29.3%

3. 楽天イーグルスへの応援意向（単数回答）

「応援意向あり」が69.0%と、ほぼ7割に達している。

- 応援意向は、「応援したい」が69.0%となっており、ほぼ7割の仙台市民が楽天イーグルスへの応援意向を示している。
- 「応援したい」が平成22年調査で69.3%であるのに対し、今回調査では69.0%と過去2番目の高さを占めている。

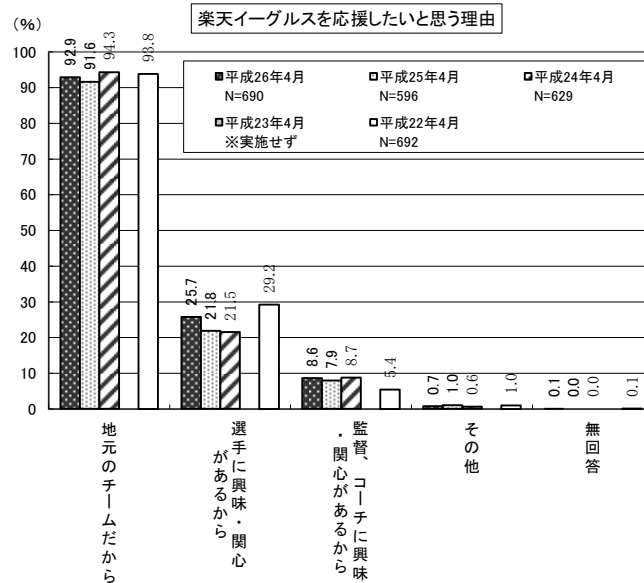


	「応援したい」	「特に応援するつもりはない・関心がない」
平成26年	69.0%	30.6%
平成25年	59.6%	39.3%
平成24年	62.9%	36.0%
平成23年	-	-
平成22年	69.3%	30.2%
平成21年	68.0%	31.6%
平成20年	68.0%	31.2%
平成19年	63.7%	34.6%
平成18年	58.1%	40.4%
平成17年	64.8%	33.5%

4. 楽天イーグルスを応援したいと思う理由（複数回答）

応援したい理由は、「地元のチームだから」（92.9%）が9割を超え、圧倒的に多い。

○「応援したい」と回答した690人に応援したい理由をたずねたところ、「地元のチームだから」が92.9%と9割を超えており、他を大きく引き離している。次に「選手に興味・関心があるから」が25.7%で続いている。

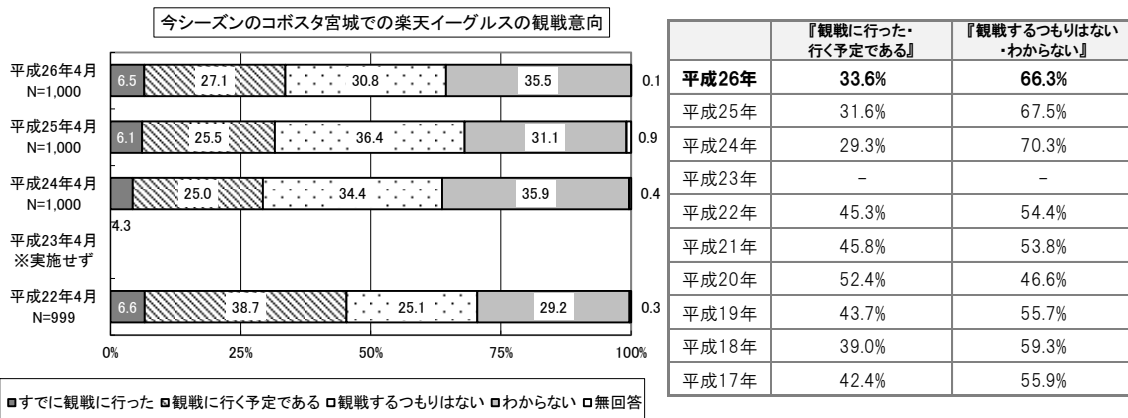


5. 今シーズンのコボスタ宮城での観戦意向（単数回答）

『観戦に行った・行く予定である』が33.6%と1/3以上を占めている。

○「すでに観戦に行った（4月中旬現在）」（6.5%）と「観戦に行く予定である」（27.1%）を合わせた『観戦に行った・行く予定である』が33.6%となっている。

○前々回調査（平成24年実施）で『観戦に行った・行く予定である』が29.3%で3割に満たない結果であったが、前回調査（平成25年実施）で31.6%、今回調査で33.6%と近年増加傾向にある。

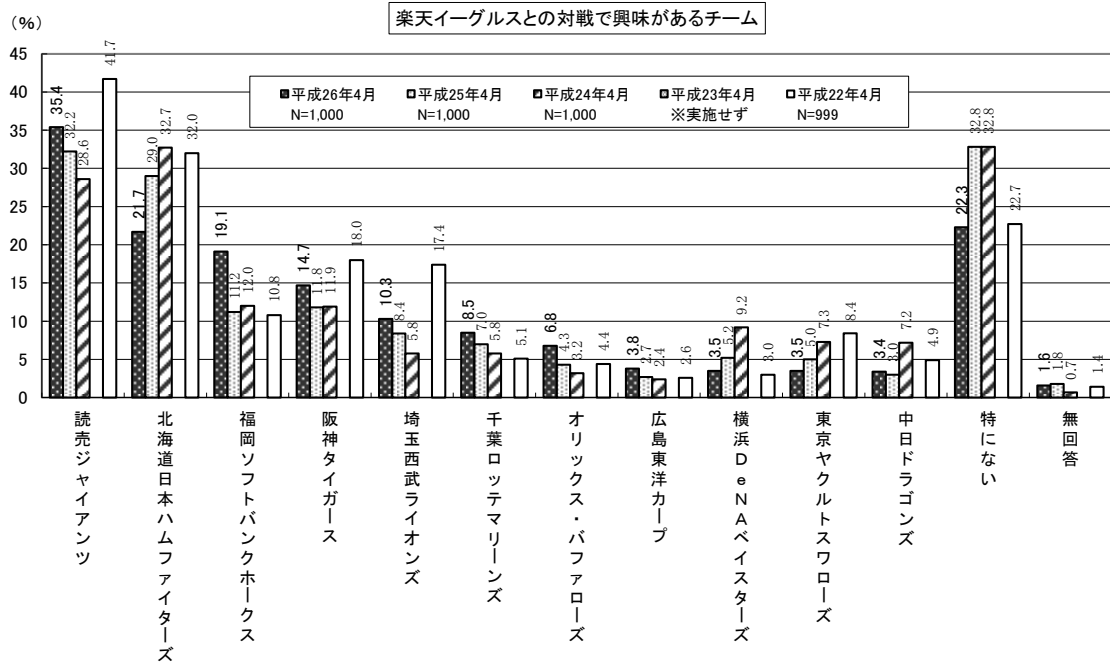


6. 楽天イーグルスとの対戦で興味があるチーム (複数回答)

第1位が「読売ジャイアンツ」で35.4%と、ここ3年増加傾向にある。一方、第2位は「北海道日本ハムファイターズ」で、ここ3年減少傾向にある。

○第1位が「読売ジャイアンツ」で35.4%と、唯一3割を超えている。次いで、第2位が「北海道日本ハムファイターズ」で21.7%と2割台で続いている。以下、第3位が「福岡ソフトバンクホークス」(19.1%)、第4位が「阪神タイガース」(14.7%)、第5位が「埼玉西武ライオンズ」(10.3%)となっており、これらは1割台で続いている。

○第1位の「読売ジャイアンツ」は、ここ3年増加傾向にあり、一方、第2位の「北海道日本ハムファイターズ」は、ここ3年減少傾向にある。



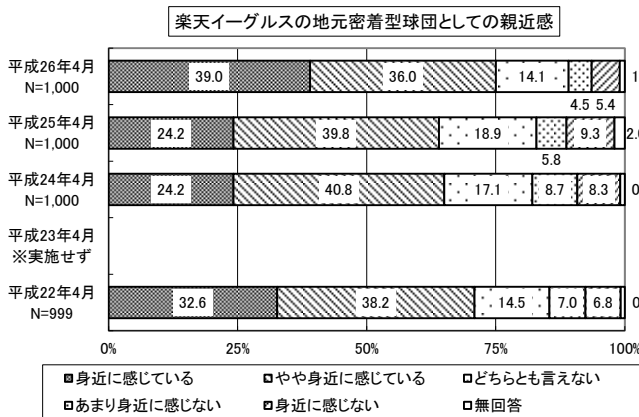
楽天イーグルスとの対戦で興味があるチーム (ベスト5)

	『1位』	『2位』	『3位』	『4位』	『5位』
平成26年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	福岡ソフトバンクホークス	阪神タイガース	埼玉西武ライオンズ
平成25年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	福岡ソフトバンクホークス	埼玉西武ライオンズ
平成24年	北海道日本ハムファイターズ	読売ジャイアンツ	福岡ソフトバンクホークス	阪神タイガース	横浜DeNAベイスターズ
平成23年	-	-	-	-	-
平成22年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	埼玉西武ライオンズ	福岡ソフトバンクホークス
平成21年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	埼玉西武ライオンズ	福岡ソフトバンクホークス
平成20年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	福岡ソフトバンクホークス	東京ヤクルトスワローズ
平成19年	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	福岡ソフトバンクホークス	北海道日本ハムファイターズ	東京ヤクルトスワローズ 埼玉西武ライオンズ
平成18年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	福岡ソフトバンクホークス	オリックス・バファローズ
平成17年	読売ジャイアンツ	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	埼玉西武ライオンズ	福岡ソフトバンクホークス

7. 地元密着型の球団としての親近感 (単数回答)

『身近に感じる』が75.0%と、調査開始以来最も多くなっている。

- 「身近に感じている」(39.0%)と「やや身近に感じている」(36.0%)を合わせた『身近に感じる』が75.0%となっており、全体の3/4を占めている。
- 『身近に感じる』が平成17年の調査開始以来、最も多くなっている。

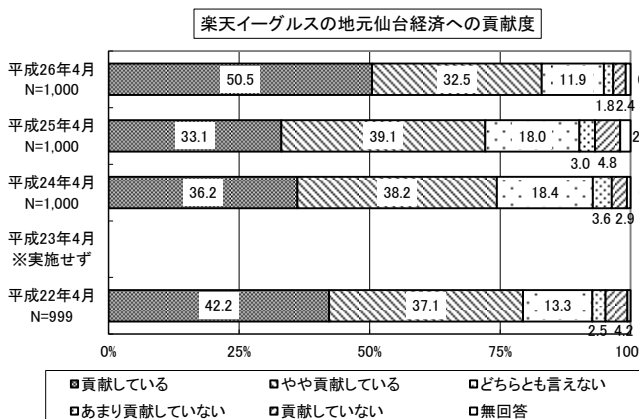


	『身近に感じる』	『身近に感じない』
平成26年	75.0%	9.9%
平成25年	64.0%	15.1%
平成24年	65.0%	17.0%
平成23年	-	-
平成22年	70.8%	13.8%
平成21年	70.9%	12.6%
平成20年	70.2%	11.4%
平成19年	64.8%	14.3%
平成18年	52.3%	24.1%
平成17年	54.5%	19.4%

8. 地元密着型の球団としての、地元仙台経済への貢献度 (単数回答)

『貢献している』が83.0%と、調査開始以来最も多くなっている。

- 「貢献している」(50.5%)と「やや貢献している」(32.5%)を合わせた『貢献している』が83.0%と、初めて8割を超えている。
- 『貢献している』が平成17年の調査開始以来、最も多くなっている。



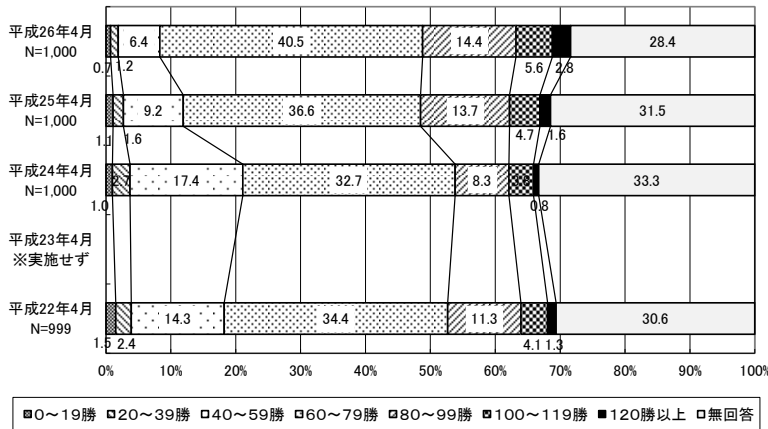
	『貢献している』	『貢献していない』
平成26年	83.0%	4.2%
平成25年	72.2%	7.8%
平成24年	74.4%	6.5%
平成23年	-	-
平成22年	79.3%	6.7%
平成21年	73.5%	6.1%
平成20年	74.5%	5.9%
平成19年	72.2%	8.0%
平成18年	66.7%	11.4%
平成17年	65.7%	10.1%

9. 楽天イーグルスの勝数予想 (数量回答)、順位予想 (数量回答)

勝数予想の平均は 73.9 勝、順位予想の平均は 2.8 位という結果に。

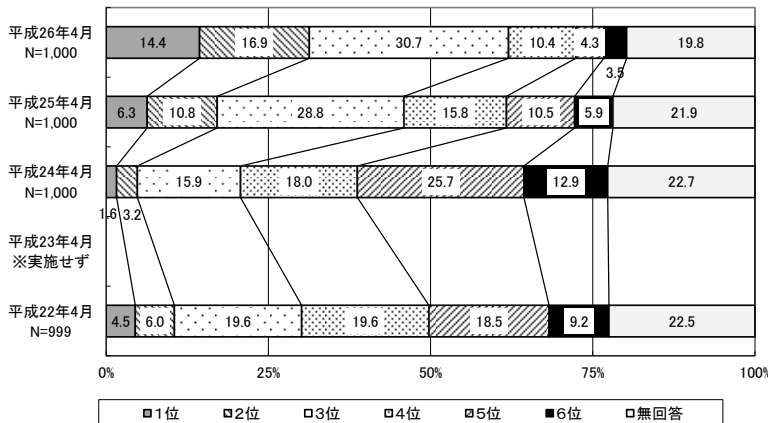
- 楽天イーグルスの今シーズンの勝数予想は、「60～79 勝」が最も多く、40.5%を占めている。なお、平均で 73.9 勝となっている。
- 楽天イーグルスの今シーズンの順位予想は、「3 位」が 30.7%で最も多く、次に「2 位」が 16.9%で続いている。なお、順位予想の平均は 2.8 位となっている。
- 勝数、順位ともに平成 17 年の調査開始以来最も高い数値を示し、成績に対する期待度が高くなっている。

楽天イーグルスのレギュラーシーズン勝数予想



	レギュラーシーズンの勝数予想平均	レギュラーシーズンの実際の勝数
平成26年	73.9勝	?
平成25年	70.4勝	82勝
平成24年	64.3勝	67勝
平成23年	-	66勝
平成22年	66.5勝	62勝
平成21年	73.5勝	77勝
平成20年	70.8勝	65勝
平成19年	58.2勝	67勝
平成18年	44.1勝	47勝
平成17年	51.9勝	38勝

楽天イーグルスのレギュラーシーズン順位予想



	レギュラーシーズンの順位予想平均	レギュラーシーズンの実際の順位
平成26年	2.8位	?
平成25年	3.4位	優勝
平成24年	4.3位	4位
平成23年	-	5位
平成22年	3.9位	6位
平成21年	3.3位	2位
平成20年	3.4位	5位
平成19年	4.6位	4位
平成18年	5.6位	6位
平成17年	5.1位	6位

★「お問合せ」

仙台市青葉区本町3丁目2-26 TEL 022 (217) 3021 FAX 022 (217) 3022

E-mail : erc@erc-voice.co.jp <http://www.erc-voice.co.jp/>

株式会社 東日本リサーチセンター 企画調査部 (担当: 佐藤 貴俊)

禁無断転載